

「生命を尊重し、夢や希望を育む」・ 「自己有用感を高める」道徳教育の充実



「生きる力」を育む道徳教育をみんなで実践

岐阜県道徳教育振興会議 会長 長村 寛

各学校で道徳教育を充実させましょう。

道徳教育で育まれる道徳性、特に、物事の本質を考える力、何事にも主体性をもって誠実に向き合う態度、豊かな情操などは、「豊かな心」だけではなく「確かな学力」や「健やかな体」の基盤となり、「生きる力」を育むためにとても重要なものです。

コロナ禍を経て様々な活動が行えるようになった今こそ、各学校が「道徳科」を要とした道徳教育を充実させることが求められています。子どもたちが学校生活の中で、共に学び、共に活動することを通して、豊かな心を持ち、明るく元気に、たくましく成長していくことが期待されます。

「1家庭1ボランティア運動」を道徳教育の実践の場として生かしましょう。

学校で取り組む道徳教育をより充実させるためには、家庭や地域との連携が大切です。そのために、岐阜県道徳教育振興会議が県民運動として取り組んでいる「1家庭1ボランティア運動」を、子どもたちの実践の場として位置付けていただけるとよいと思います。本年度も、多くの学校、家庭、地域の方々にご協力いただきました。

子どもたちの発達の段階、家庭や地域の状況などを踏まえ、各学校で工夫された「1家庭1ボランティア運動」の取組が行われるようになってきています。これからも、子どもたちを含めた多くの人たちの『心がつながる』活動として、継続して取り組んでいただくようお願いします。

実践協力校の取組を参考に、各学校で工夫した活動に取り組みましょう。

岐阜県道徳教育振興会議の実践協力校である中津川市立第一中学校、県立池田高等学校では、指導方法を工夫した道徳教育に関する取組、家庭や地域での活動を充実させるための取組等が行われており、その成果が本啓発資料に掲載されています。

実践協力校の取組を参考に、子どもたち、家庭や地域の実態を踏まえ、各学校で工夫して活動に取り組んでいきましょう。



岐阜県道徳教育振興会議 事務局
岐阜県教育委員会義務教育課

〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1
TEL 058-272-1111 (代)

岐阜県教育委員会HP
「豊かな心を育む 道徳教育」



令和8年2月作成

自己を見つめ、よりよく生きる生徒の育成

第一中学校では、道徳的価値について自分なりの感じ方を大事にして、お互いの考えを交流し合う対話的な授業を要としながら、学校での日常生活や行事の中で共感的な人間関係を醸成し、保護者や地域との連携や協働活動の中で、生徒の道徳的実践力を養っていくことを目指して研究実践に取り組んでいます。

1 多様な感じ方、考え方、価値観に触れ、自分自身を見つめることができる道徳の授業の創造（授業部会）



対話を生み出す学習環境の工夫



多様な価値観を認め合う対話



視覚的に価値観の違いを感じる工夫

2 道徳的価値を意識した学級経営・学年経営・生徒会活動の創造（特活部会）



道徳的価値を意識した行事の取組



日常の行動と道徳的価値をつなぐ揭示



人権意識を高めるひびきあい活動

3 保護者・地域との連携、協働によるつながりを深める活動の創造（家庭・地域連携部会）



PTA とコラボした1家庭1ボランティア運動



地域人材や諸団体を活用した授業



親子地域清掃活動

4 研究を支える基盤（共感的な人間関係の育成・自己理解と自己の変容への気づき・職員研修）

内容項目	質 問
A-1	生活の中で、するとよいことを自主的に考え・判断し、行動することができる。
A-2	自分の生活を見つめ、自己コントロールして健全な生活を心がけることができる。
A-3,4	自分の個性を伸ばしたり、夢や目標に向けて努力したりすることができる。
B-6	思いやりをもって人と接したり、感謝を伝えたりすることができる。
B-7	時と場合に応じた、礼儀正しい言動ができる。
B-9	立場や考え方が違う人の個性や意見を尊重し、広い心で受け入れることができる。
C-11	差別や偏見をせず、誰に対しても公平に接することができる。
C-12	家族の一員としての自覚をもち、家庭での生活を送ることができる。
C-15	自分の役割を自覚し、責任をもって果たすことができる。
D-19	生命の尊さを理解し、自他の命を大切に生活している。
授業	授業を通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
特活	学校生活（生活・授業・行事）を通して、自分（よさ・課題）を見つめることができる。
地域・家庭	地域や社会をよくするため、何かしてみたいと思う。（協力・参加・発信・人とのつながり）

自己理解と自己の変容への気づきのためのアンケート



かかわりの力を高める一中タイムの時間

探究活動を通して、主体的に判断する力を養い、 他と協働し、よりよく生きる意識を高める道徳教育の推進

1 本校の現状

池田高校のスクールミッションは、「地域に根ざし、地域と連携するユネスコスクールとして、地域の活性化や課題解決に向けた探究的な学びを通して、何事にも挑戦し、持続可能な社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す学校」であり、「地域とともにある学校」を目指しています。

本校の生徒は、「いろいろなことを一緒にやっとうとする人柄のよさ」と、適切なヒントや支援を与えることで豊かなアイデアを生み出し、驚くほど積極的に活動することができる可能性をもっています。一方で、自ら先頭に立って計画を進めたり、自分の考えを積極的に表現したりすることに苦手意識をもつ生徒が少なくないのが現状です。そうした生徒たちだからこそ、学校行事や「総合的な探究の時間」を積極的に取り組むことで、自他を尊重する態度と、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う実践を行うことにしました。

2 研究内容

3つの柱で育む力・具体的な取り組み

◇自己を見つめる力（自己理解）

- ・自らの認知特性を知る授業（サンビレッジ国際医療福祉専門学校職員による特別授業）
- ・「いのちの授業」（岐阜県総合医療センター 寺澤大祐氏による講話）
- ・生徒自己理解調査

◇多様な価値観に触れる（他者理解・他者との協働）

- ・カレー de 探究（炊き出し訓練、避難所設営訓練）
- ・球技大会、文化祭、遠足、体育大会等の各種学校行事

◇自己表現力（論理的な思考力と表現力）

- ・ディベート de 探究
- ・池田 de 探究、RING de 探究
- ・探究成果発表会
- ・版画大会



3 成果と課題

振り返りの中で、生徒からは「自分にとっての苦手な部分が理解できた。」「見た目の印象と実際の性格は違う。」「相手のことを理解して、自分のことを伝えることが大事だと思った。」「いい友達と出会えたことで、人と話すようになった。」という声が寄せられています。こうした気付きは、生徒の成長を支援する教員にとっても多くの学びをもたらしています。日常の教育活動や学校行事は、すべて道徳教育につながっています。今後も「3つの柱」を意識した振り返りの機会を継続的に設けることで、生徒の成長を促すとともに、教員の意識向上にもつなげていきたいと考えています。

県民運動として展開してきた「1家庭1ボランティア運動」。家庭・地域ぐるみでボランティア活動に取り組み、子どもたちに豊かな心を育てている実践が、県内各地から多く寄せられています。



岐阜県教育委員会HP
「豊かな心を育む 道徳教育」

心がつながる 1家庭1ボランティア

「1家庭1ボランティア運動」って？

「1家庭1ボランティア運動」は、豊かな心と行動に満ちあふれた県民風土をつくることを願って進めている県民運動です。

- 家族と一緒にごみ拾い
- 友だちと協力して地域行事の準備
- 学校でのあいさつ活動や花づくり
- 地域の方と協力して地域の清掃活動など



自分から進んで取り組み、声をかけ合い、応え合い、「ありがとう」の気持ちを伝え合いましょう！

ボランティア運動中の

「ありがとう」の言葉に対する喜びが
「明日もがんばろう！」という希望につながります。

自信

ボランティア運動を通して得られる
「自分にはよいところがある」という実感が、
自信の高まりにつながります。



ボランティア運動での
人と人のあたたかいつながりが、
自分も相手も大切にしようとする心を育みます。

夢・希望



「1家庭1ボランティア運動」に取り組んで…心がつながる

【生徒の振り返り】

今日は、道路のすき間の雑草を取り除く作業をしました。道路にひびが入ってしまうことがあるそうなので、地域の安全に貢献できてよかったです。また、行きたいです。

【保護者からのメッセージ】

率先して雑草を一生懸命抜いている姿は「大人の階段を上っているな。」と感じました。次回の草抜きが楽しみです。

【PTA家庭教育委員からのメッセージ】

活動が地域まで広がっていて素晴らしいですね。地域の一員として、まさに「大人の姿」ですね。